

平成19年度環境技術実証モデル事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野における実証対象技術の選定について

(同時資料提供 環境省)

平成19年6月14日(木)

代表連絡先	環境農林水産総合研究所 企画調整部 技術普及課 担当 南、山添 電話 06-6972-7634 メールアドレス etech@mbox.epcc.pref.osaka.jp
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成19年度の環境省環境技術実証モデル事業(閉鎖性海域における水環境改善技術分野)として、大阪府が実施する実証対象技術を選定しましたので、お知らせいたします。

1 概要

4月18日(水)から5月2日(水)まで実証対象技術の募集を行ったところ、2件の申請がありました。

府では、申請のあった技術について、形式的要件や実証可能性を検討するとともに、府の技術実証委員会において環境保全効果等の検討を行い、次の実証対象技術1件を選定し、環境省の承認を得ました。

技術名

直接曝気方式 マイクロアクアシステム

環境技術開発者：マイクロアクア株式会社(堺市)

2 今後の予定

今後、実証機関である大阪府環境農林水産総合研究所が実証試験計画を策定した後、高石漁港において実証試験を行い、今年度末までに実証試験結果報告書を取りまとめ、公表する予定です。

【参考】 環境技術実証モデル事業について

本事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的として、平成15年度から環境省が実施している事業です。

大阪府では、今年度の新規テーマである本技術分野の実証試験と評価技術の普及を行うことが、閉鎖性海域である大阪湾の水質改善の推進にとって有益であることから、実証機関に応募したところ、宮城県、兵庫県とともに環境省から実証機関として選定されました。

関連ホームページ 環境技術コーディネート事業(環境技術実証モデル事業のページ)

添付書類 [実証対象技術の概要](#)

大阪府環境情報センターは、平成19年4月1日に大阪府環境農林水産総合研究所となりました。

実証対象技術の概要（閉鎖性海域における水環境改善技術分野）

大阪府

実証対象技術名 申請者名	技術の概要（機器構成図）
<p>直接曝気方式 マイクロアクアシステム</p> <p>（株）マイクロアクア</p>	<p>本技術は、空気と対象水を混合・圧縮し、微細気泡が混入した混合水として、対象水域に拡散することにより、溶存酸素濃度を向上させるものである。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>